

# 鳥海山

4/28~4/29

メンバー 菅沼 小森 宮  
加藤 小保 方

4/28

前夜より例年のなかで同じ鳥海山へ行く  
西川氏たちと酒田駅よりタクシーで、鳥  
海ブルーラインより国民宿舎大平山荘に  
着き、そこから鳥海山を目指した。

ヘリコプター事故があったため、入山  
する者はそれほど多くなりようである。

先行した西川パーティーの速さに引、は  
られて我々もピッチを上げた。

天候にめぐまれ、踏置されたコース渡り  
ぬりな んらまようこともなく屋越ぎには  
御浜神社に着いた。この付近はツボ足で  
はかなり毛ぐり、ショートラーゲンの二人  
組は我々を見て「シールを持ってくれば

良かったナア〜」などと言っていたが、  
ビインディングはゲレンデ用のもの。

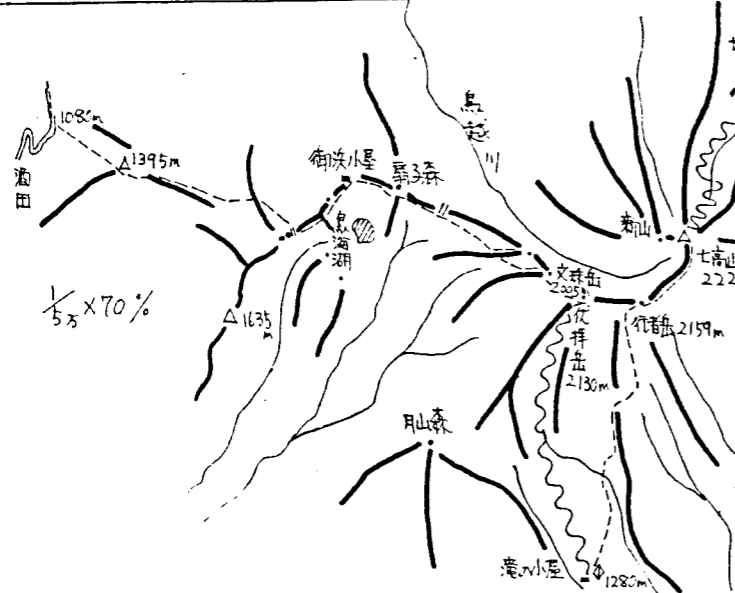
所々クラストしている斜面もあったが、  
全員がクローを着装していたので、トラ  
ブルなく高度を稼ぐことができた。

日本海の海岸線を見渡すことができる望  
望をほしいままに文珠岳一伏拝岳の稜  
線よりほぼ裏道どおりにハ丁坂の遊離小  
屋を目指し滑降を開始した。シュプール

のない無木立の大きな斜面を快進に滑べ  
った。あまり滑りやすい雪質ではなかつ  
たが、今までの苦しい登高がむくわれる  
一時であった。小屋に着いたら中に人が  
いた。だがその小屋はなんと逆ノ小屋で  
あった。ハ丁坂の小屋は雪にうもれてい

るのであろう。菅沼氏いわく「この雪だと相当岩乗に出来ていないとこわれてい  
るだろう。テントはやめて小屋に泊ま  
ろうかなどと考えていたが、妻泊り二千  
円ということで、4人でハチはバカら  
しいということで、テント泊となった。  
多量の牛肉と野菜でのせいたくな夕食を  
囲み昨日の疲労を癒し八時過ぎにはシェ  
ラフにもぐった。外は風がかなり強く、  
冷え込みも激しか、た。(加藤記)

4/28 コースタイム  
大平山荘(タクシー)10:00→10:15  
→御浜神社 12:15/30  
稜線 15:00/15:20  
滝ノ小屋 16:00



どちらへ滑るにも滑りやすいと出来た雪の斜面が  
広がっている。視界100%で滑り降りるルートも目ど  
りよく見ることが出来る。雪質の方は良い部分と重い雪とが  
入り混じっていたが、急な斜面は小氷と良い傾斜が  
なくなるにつれどうしようもなく重い雪がたまっているとい  
った感じで、比較的良い場面では小氷が滑りを繋げる  
雪だった。30分程でセッ登避難小屋に着き、  
小休止して、長い下りをまた滑り降りた。天気は悪く曇り  
ルートの不安がなく、山はやはり天候次第だと思う。  
滑りながら杖を振り返ると鳥海の山容がいつまでも  
変わらない景観であり、この雪で降りても頂上の見えるのが  
印象的だった。雪が多かったため稜線の部分を  
ルート図の通り下ることが出来、標高差2000mあまりを  
2時間半で滑降することが出来た。予定では4時間位  
かかるかも知れないという予想だったので、  
かなり順調に滑れたと思う。バス停まで  
舗装道路を20分歩き、国民宿舎鳥海山荘前  
バス停を15:40発のバスに乗って矢島の駅に出る。  
ここで下山靴を脱ぎ、はるばる秋田を廻って夜行で  
上野への帰路に着く。雪は結構通って才波まで  
いってしまったけど、天気も良かったし、標高差2000mの  
滑降は満足感と充実感溢れるものだった。たいてい  
山スキーの山行に行っていない私が偶然行って  
こんないい思いをして長いだろうかというシッパ返しを  
連休後半に充分味わうことになるのでは、この時考えても  
みなかたことを申し添えて終山です。(小保方尚子記)

<タイム>  
滝ノ小屋 7:30 - 2100m 稜線 10:40/11:05 -  
七高山 11:50/12:40 - セッ登小屋 13:10/13:25 -  
735m 取水口 14:15/14:35 - 猿蓑部落のつりばり  
15:00/15:10 - バス停 15:30

4/29. 滝ノ小屋の暮営地は風強く、テントに  
吹きつける風の音と鳥の声とで5:00頃  
皆起床し、のんびり朝食をとった後 7:24  
七高山に向け出発する。天気は今日も  
良すぎる程で絶好のスキー日和だが、登りには  
若干暑すぎる上、前日予想以上に下りおたため、  
今日は標高差21300m程登り返すのはならず  
気が重い。朝方で雪は小氷としまり、2も  
傾斜のきつい所では横ズレしてしまてキックターンが

殊に怖い。今回はこのスキーアイゼンを使っていたが  
こ氷がなかったら私の杖は杖を以てそのまま押し通す  
ことは無理だったと思う。1時間置き位に  
中休止を取りながら、折々屋根を越える時に杖を  
歩いて踏みこき、小氷でも最後杖をつけたまま10:40  
2100mの稜線にでる。30分程休んで七高山に  
向かい、11:50山頂に着く。さすがに15人位の  
先客で賑わっており、1時間の中休止の後はいよいよ  
下降にはいる。今年の鳥海は雪が多い。七高山からは